

都立動物園マスタープラン



平成 23 (2011) 年 9 月



東京都及び公益財団法人東京動物園協会は、都立動物園・水族園における野生動物の保全活動を通じて、人と動物がともに生きていくこと（共生）のできる地球環境を守り、未来に引き継いでいきたいと考えています。

そこで、このことを多くの人へ伝えていくために、東京から地球環境を考え、行動することを宣言します。

東京動物園行動宣言

私たちには伝えたいことがあります。

動物たちのいのちの存在を、
動物たちの素晴らしさを、
動物たちのふるさとのおかれている現状を、
動物たちを守る取組を。

そして、たくさんの人に、ここにいる動物たちを
見つめ、考えてほしいのです。

この動物たちとともに
今を、そして未来を生きるために、
私たち一人ひとりが出来ることは何かを。

都立動物園は、東京から地球環境を考え、
行動していきます。

目 次

第1 都立動物園マスタープランの策定に当たって

- 1 マスタープランの目的 1
- 2 マスタープランの計画期間 1

第2 都立動物園を取り巻く状況

- 1 成り立ち 2
- 2 入園者数の推移 3
- 3 野生動物保全の取組 5
- 4 運営体制の見直し 7

第3 都立動物園の目指す姿と取組の方向

- 1 都立動物園の役割 8
- 2 都立動物園の目指す姿と取組の方向 9
- 3 各園の目指す姿と取組の方向 27
- 4 施設整備の方向 31

第4 都立動物園マスタープランの実現に向けて

- 1 効率的・効果的な運営 32
- 2 入園者増の戦略的取組 32

参考資料

- 1 全国の動物園・水族館別の入園者数（平成 21 年度実績） 34
- 2 都立動物園（4 園）の概要（平成 23 年 4 月 1 日現在） 35
- 3 ズーストック種（50 種） 36
- 4 ジャイアントパンダ保護サポート基金 37
- 5 都立動物園の指定管理者 20 の行動指針
（公益財団法人東京動物園協会） 38

第1 都立動物園マスタープランの策定に当たって

1 マスタープランの目的

都は、都立動物園・水族園（以下、本文においては建設局所管の恩賜上野動物園、多摩動物公園、葛西臨海水族園及び井の頭自然文化園の4園をあわせて「都立動物園」と言うことにします。）を取り巻く状況の変化に適切に対応し、より一層都民の期待に応えていくため、これまでの都立動物園における取組の成果や課題を整理し、これから都立動物園が目指す姿とそれを実現していくための取組の方向を示す「都立動物園マスタープラン」を策定しました。

都は、都立動物園の指定管理者である公益財団法人東京動物園協会とともに、このマスタープランを実現していくことにより、魅力あふれる新たな都立動物園の姿を創り出していきます。

2 マスタープランの計画期間

「都立動物園マスタープラン」は、平成23年度から平成32年度までの概ね10年間を計画期間としています。

第2 都立動物園を取り巻く状況

1 成り立ち

日本の動物園の先駆けとなった恩賜上野動物園は、明治 15 年に農商務省所管の博物館附属施設として開園しました。その後、明治 19 年に宮内省所管となり、大正 13 年に皇太子殿下（後の昭和天皇）のご成婚を記念して、当時の東京市に下賜され、今日に至っています。

井の頭自然文化園は、行楽の間に自然科学知識の普及向上に寄与することを目的として、昭和 17 年に井の頭池の中之島にある小動物園と御殿山地区の自然生態園を併せて、開園しました。園内は動物園のほか、植物園、彫刻館などが併設され、その名のとおり自然と文化が調和した施設となっています。

多摩動物公園は、恩賜上野動物園の分園として昭和 33 年に開園しました。丘陵地の自然を生かして、全園にわたり可能な限り、檻や柵の使用を控えた無柵放養式展示を行うとともに、豊かな自然の中で環境学習機能を強化しています。また、都立動物園における野生動物保全の拠点ともなっています。

そして、葛西臨海水族園は、楽しみながら海の自然への認識、水族（水生生物）についての科学的認識が培われる、「海と人間の交流」の場とすることを目的として、平成元年に恩賜上野動物園の中にあった水族館を移転・拡充して、開園しました。世界初のマグロ類の群泳展示や世界各地の多様な水生生物の展示を行っています。



都立動物園の位置

2 入園者数の推移

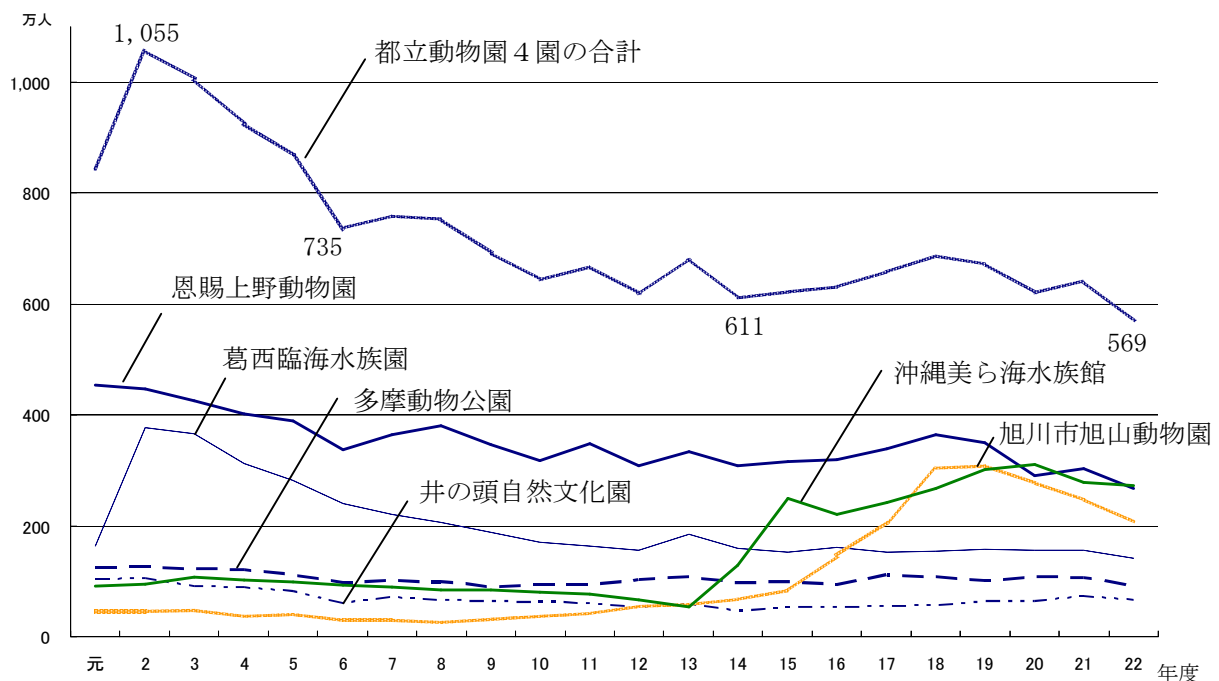
都立動物園は、大都市東京で野生動物を間近に体感でき、驚きと感動を得ることのできる施設として、長年にわたり多くの都民に親しまれています。

葛西臨海水族園が開園した平成元年度以降の都立動物園4園全体の入園者数は、下表のとおりです。平成23年度に入ると、恩賜上野動物園ではジャイアントパンダの来園で入園者数が増加に転じていますが、4園全体の入園者数は、長期的に見れば、少子化の進行や多様なレジャー施設の増加による競合等により、平成3年度以降は減少傾向にあります。

一方、北海道の旭川市旭山動物園や沖縄県の沖縄美ら海水族館などは、創意工夫を凝らした動物の展示やサービスの向上、施設のリニューアルなどにより魅力を高めています。

都立動物園においても、都民をはじめ幅広い人たちのニーズを踏まえた魅力ある動物園づくりが必要となっています。

《参考》入園者数の推移



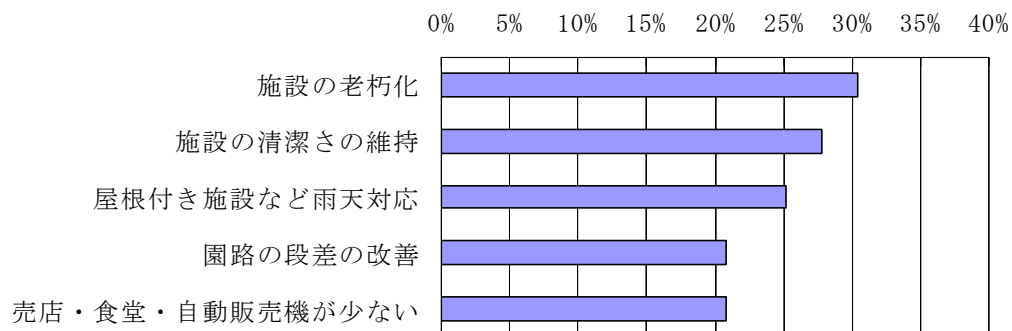
(注1) 平成元年10月に葛西臨海水族園が開園

(注2) 平成14年11月に沖縄美ら海水族館がリニューアルオープン

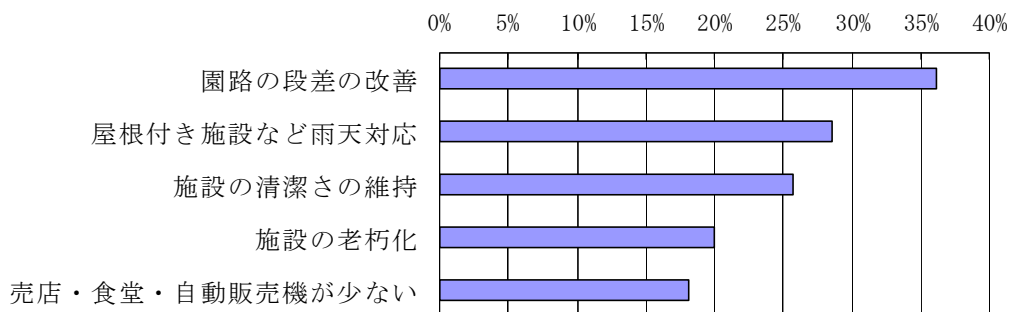
(注3) 平成22年度は東日本大震災の影響により、都立動物園(4園)は3月に約2週間の臨時休園

《参考》平成 22 年 11 月の利用者満足度調査で、利用者から回答を得た改善要望
事項（抜粋）

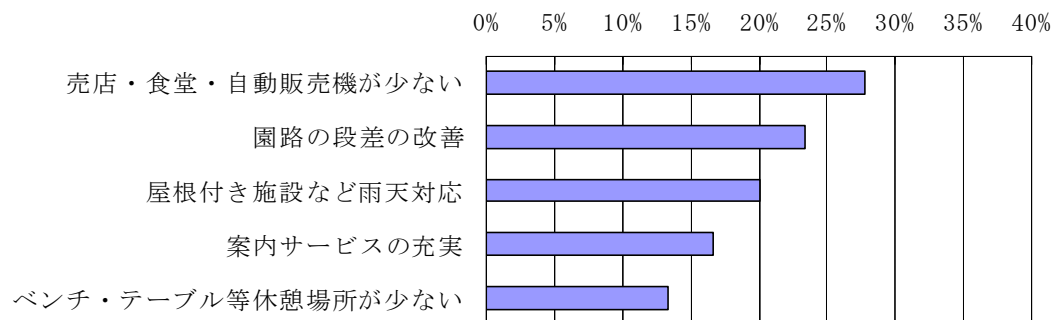
◆恩賜上野動物園



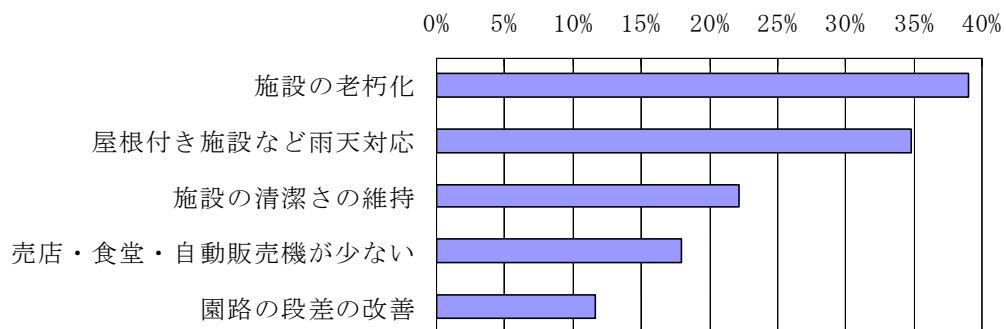
◆多摩動物公園



◆葛西臨海水族園



◆井の頭自然文化園



3 野生動物保全の取組

都立動物園は、レクリエーションと観光の場としてはもちろんですが、希少野生動物の保護繁殖を通じた種の保存とそれを支える調査研究、子どもから大人までの環境学習の場としても活動しています。とりわけ「種の保存」とそれを支える「調査研究」においては、日本の動物園・水族館の中心的役割を果たしています。

都立動物園でいつでも見ることのできるトラやゴリラ、ゾウなどは、いずれも希少野生動物として保護繁殖の対象となっています。近年では、開発の進展や乱獲などに加え、地球温暖化による気候変動も一因として野生動物の生息環境が脅かされており※、都としても、野生動物や地球環境の保全への取組を強化していく必要があります。

そのため、都立動物園における種の保存や調査研究機能のさらなる向上を図るとともに、それを支える施設環境づくりなどを行っていきます。

《参考》施設状況



動物病院（恩賜上野動物園）



野生生物保全センター（多摩動物公園）

※ 例えば、ホッキョクグマは国際自然保護連合（世界最大の自然保護機関）のレッドリスト 2006 年版に絶滅危惧種として初めて掲載されました。これは、気候変動により海水面積が減少し、海水の上から餌となるアザラシを捕まえることができる期間が短くなったことが、個体数の減少につながっているのではないかとされています。レッドリストとは、絶滅の恐れのある種の現状や原因をまとめたもので、2011 年版によると脊椎動物の絶滅危惧種数は哺乳類で 1,134 種、鳥類で 1,240 種、爬虫類で 664 種、両生類で 1,910 種、魚類で 2,011 種の合計 6,959 種となっています。

《参考》都立動物園における飼育動物例（平成 23 年 8 月 31 日現在）

分類		定義	飼育動物例
絶滅		既に絶滅したと考えられる種 オキナワオオコウモリ、ニホンオオカミ等	—
野生絶滅		飼育下のみ生存、もしくは過去の分布域外に個体(個体群)のみ生存している種	シフゾウ シロオリックス
絶滅危惧	絶滅危惧 IA 類	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの	スマトラトラ ソデグロヅル ニシローランドゴリラ ヒガシクロサイ モウコノウマ
	絶滅危惧 IB 類	近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの	アオウミガメ アジアゾウ ジャイアントパンダ タンチョウ ボルネオオランウータン
	絶滅危惧 II 類	絶滅の危険が増大している種。現状のままでは近い将来上位のランクに移行することが確実と考えられるもの	チーター ツキノワグマ フンボルトペンギン ホッキョクグマ ミヤコタナゴ
準絶滅危惧		現時点での絶滅危険度は小さいが、存続基盤が脆弱な種	オオサンショウウオ コンドル ヤマドリ ユーラシアカワウソ ワオキツネザル
軽度懸念		分布が広いものや、個体数の多い種	アミメキリン オウサマペンギン ニホンザル ヨーロッパオオカミ イモリ

（注）飼育動物例は、国際自然保護連合のレッドリスト 2011 版記載の動物

4 運営体制の見直し

都は、平成 18 年 4 月、都立動物園の運営に指定管理者制度※を導入しました。都立動物園における種の保存や調査研究機能を維持、発展させながら、利用者サービスの向上とより効率的・効果的な運営を図るため、公益財団法人東京動物園協会を指定管理者とし、以来、東京動物園協会とともに、より都民に親しまれる都立動物園づくりを進めています。

都は毎年度、指定管理者の運営状況について評価を行い、その後の都立動物園の業務改善に反映させることにより、利用者サービスの向上に努めています。指定管理者においても、自ら飼育技術を生かした動物の特性を引き出す展示の工夫や来園者を楽しませるイベントを行うとともに、夏休みを中心に開園時間の延長や開園日数の拡大を行うなど、独自サービスの展開にも取り組んでいます。また、民間資金を活用した効果的な取組も行っています。

今後も、様々な工夫により、都立動物園における魅力的なサービスを効果的に提供していきます。

《参考》夏休みの夜間開園の実施



氷柱を使った照明
(恩賜上野動物園)



群れで休むキリン
(多摩動物公園)

※ 指定管理者制度とは、住民サービスの向上と行政の効率化を図るため、地方公共団体が指定するものに公の施設の管理権限を委任する制度です。

第3 都立動物園の目指す姿と取組の方向

1 都立動物園の役割

首都東京にある都立動物園は、多くの来園者に憩いや安らぎの場を提供するだけでなく、世界中から来園者を迎えて、多様な野生動物の行動や生態、生息環境を伝え、その保全に取り組むことの必要性を訴えています。同時に、将来の野生動物の保全活動の担い手を育む場ともなっています。

わが国においては、国立動物園が存在しないことから、恩賜上野動物園を中核とする都立動物園が、事実上、日本の動物園の中心的な役割を果たしてきました。

都立動物園は、希少動物の保護繁殖や調査研究などに取り組むだけでなく、野生動物の生息地の保全活動においても、国内外の動物園・水族館に対する支援を行っています。さらに、飼育動物の寄贈あるいは受贈を通じて諸外国との国際親善にも寄与しています。

このように都立動物園の活動は、単に、東京都の動物園・水族園という枠組みにとどまりません。野生動物の絶滅の危機が深刻化する中、都立動物園は、日本を代表する動物園・水族園として、世界の野生動物の保全とこのことを通じて地球環境の保全に至る場面にまで、先導的な役割を果たしてきています。

都立動物園がこうした役割を引き続き果たしていくためには、都として、都立動物園の存在意義を踏まえた上で、その先を行く動物園を創っていかなければなりません。

2 都立動物園の目指す姿と取組の方向

都は、都立動物園4園を一体として、公益財団法人東京動物園協会とともに、次のような姿を目指すこととし、その実現に向けて取組を進めていきます。

目指す姿

飼育繁殖技術を世界に発信し、東京、日本そして世界の野生動物の保全に貢献する動物園

動物や自然への感性を育み、人々と野生動物との架け橋となる動物園

新たな魅力で観光に寄与し、多くの人が繰り返し訪れ、賑わいを創出する動物園

取組の方向

希少な野生動物の保護繁殖（生息域外保全）に積極的に取り組み、生息地の保全活動（生息域内保全）にも貢献

多様な野生動物の生態や生息地の環境を伝え、来園者の興味や関心を引き起こし、野生動物の保全活動の理解者と担い手を育む

魅力あふれるサービスの提供により、都民だけでなく、世界中から多くの来園者を迎え、東京の観光や地域振興にも貢献

野生動物の保全に貢献する動物園

希少な野生動物の保護繁殖（生息域外保全^{※1}）に積極的に関わり、
生息地の保全活動（生息域内保全^{※1}）にも貢献していきます。

（希少動物の保護繁殖）

希少動物の繁殖に際しては、動物同士の近親交配を避けるため、動物園・水族館の間で繁殖のための動物の交換（ブリーディングローン）を行っています。これには国内外の動物園・水族館のネットワーク機能が重要になります。そのため、都立動物園は日本動物園水族館協会^{※2}への加盟を通じて、世界動物園水族館協会^{※3}のネットワークに参加しています。

その上で、都立動物園ではトキやコウノトリ、ジャイアントパンダなど希少動物を繁殖させる高度な技術と国内外の動物園・水族館のネットワークを活用し、「ブーストック種^{※4}」を中心に、希少動物の保護繁殖に関わり、成果を挙げてきました。

最近の例で言えば、恩賜上野動物園ではニシローランドゴリラやマレーグマ、多摩動物公園ではチーターやグレビーシマウマ、葛西臨海水族園ではフンボルトペンギン、井の頭自然文化園ではニホンリスなどが挙げられます。

※1 「生息域内保全」とは、生息状況の調査や環境の改善、外来種の駆除などにより生息地の自然や生態系そのものを保全し、野生動物を保護していくことです。また「生息域外保全」とは、動物園・水族館などが将来の野生復帰の可能性なども考慮しながら、飼育繁殖や調査研究を行うことにより、種の保存を図っていくことです。

※2 日本動物園水族館協会は、昭和14年に動物園・水族館事業の発展振興を図るために設立され、国内153（平成23年8月31日現在）の動物園・水族館で構成されています。

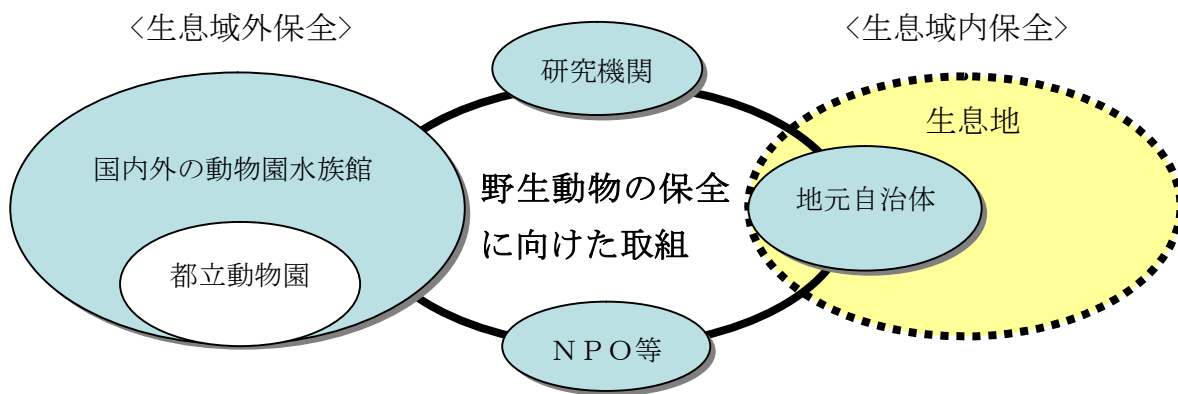
※3 世界動物園水族館協会は、世界の動物園・水族館の支援等を目的に昭和10年に設立され、日本動物園水族館協会をはじめ、世界各地の動物園協会等で構成されています。

※4 ブーストック種とは、それまで都立動物園で分散飼育していた動物を、種ごとに1つの動物園に集中して飼育することで繁殖を推進する「ブーストック計画事業」に基づき選定した50種の希少動物種です。（巻末参考資料に記載）

今後は、これまでの繁殖実績や野生動物の保全の必要性などを踏まえ、ブースト種を見直すとともに、国内外の動物園・水族館との連携による繁殖計画※⁵を推進していきます。

さらに、動物園・水族館の間にとどまらず、研究機関やNPOなどとのネットワーク機能も強化し、国内はもとよりアジアなど海外における野生動物の生息域内の保全活動にも積極的に取り組んでいきます。

《参考》野生動物保全のイメージ



※5 繁殖計画例

- ・「ツシマヤマネコ保護増殖計画」（都のほか6市と環境省で実施。平成23年7月現在）
- ・「ジャイアントパンダ繁殖研究プロジェクト」（都と中国野生動物保護協会）

《参考》生息域内保全活動との連携例

◆ トキ

恩賜上野動物園、多摩動物公園及び井の頭自然文化園では、昭和 43 年にトキ保護実行委員会を組織し、トキの人工飼料の開発や繁殖、研究に取り組み、その成果を基に佐渡トキ保護センター等へ技術協力を行ってきました。平成 19 年からは多摩動物公園で飼育繁殖に取り組み、計 26 羽が育ち、そのうち 4 羽は佐渡で放鳥されています。



トキ（多摩動物公園）

◆ アカガシラカラスバト

アカガシラカラスバトは、小笠原諸島だけに数十羽のみ生息している希少な鳥です。平成 13 年からこれまでに恩賜上野動物園と多摩動物公園で飼育繁殖に成功し、合わせて 25 羽が育ちました。現在、国や都環境局、小笠原村、NPO 等と連携し、将来の野生復帰に向けて取り組んでいます。



アカガシラカラスバト
(恩賜上野動物園)

◆ ボルネオオランウータン

マレーシア・ボルネオ島で、伐採により分断された森林に消防ホースで編まれたつり橋を架け、オランウータンの移動を助け、孤立した群れの解消に貢献しています。

(「マレーシア・サバ州との野生生物の共同保全に関する覚書」(平成 19 年))



消防ホースのつり橋を架ける様子

（調査研究機能の充実）

平成 18 年度に都立動物園における調査研究機能を強化するため、多摩動物公園内に野生生物保全センターを設けました。ここでの DNA 解析※¹やホルモン分析※²、精子の凍結保存などの生物工学技術を、各園で飼育繁殖や調査研究に応用しています。

今後は、高度化する飼育繁殖技術や獣医療に対応するため、野生生物保全センターが中心となり、生物工学的分野だけでなく、動物行動学など多様な分野の研究を大学等の外部機関と連携し推進していきます。

そして、調査研究で得られた成果を園内での飼育繁殖だけでなく、生息域内の保全活動にも役立てていくとともに、これらの取組を都民に分りやすく情報発信していきます。



野生生物保全センターでの
DNA分析

（高度な飼育繁殖技術の継承・発展）

都は、希少野生動物の保護繁殖や調査研究機能を一層充実させていくため、都立動物園が長年にわたり蓄積してきた豊富な飼育繁殖技術や経験を、次世代に確実に継承、発展させていきます。

また、動物学や生物学の発展をリードする若い人材育成にも貢献するため、これまで以上に大学等の実習生や国際協力機構（JICA）を通じて海外研修生などの受入れを推進していきます。

※1 DNA解析によって飼育動物の血縁関係を明らかにし、飼育下における遺伝子レベルの多様性の維持に貢献しています。

※2 ホルモン分析によって、動物の発情期間の把握や早期妊娠診断が可能になります。糞及び尿中からの分析を行うことで、動物にストレスを与えることなく、ホルモン測定を行うことができます。

《参考》各園の主な飼育繁殖・調査研究実績

園 名	取組テーマ	取組内容
恩賜上野動物園 (首都大学東京)	ニホンツキノワグマ の冬眠展示及び冬眠 の誘導と冬眠期間中 の諸変化について (H18～H21)	クマ冬眠展示施設において、最新の非接触型計測機器を用い、クマの冬眠に影響を与えることなく、体重や呼吸数、心拍数など貴重なデータを取得。クマの冬眠時の生理状態の解明に寄与し、この成果を動物園の国際専門誌などを通じて国内外で発表。
多摩動物公園 (岐阜大学)	性ホルモン分析技術 を活用した希少動物 の繁殖 (H20～継続中)	外見的な特徴や行動だけでは妊娠が判別しにくいグレビーシマウマやアムールトラ等について、性ホルモン分析技術を活用し、動物にストレスを与えることなく、糞から早期に妊娠を診断し、繁殖に成功。
葛西臨海水族園 (東京大学海洋 研究所)	マグロ類の孵化、成 長、生存に及ぼす温度 影響について (H21)	園内で採取されたマグロ類の卵について、様々な条件で孵化、育成させ、生存や成長に及ぼす要因を調べ多くの知見を取得。地球温暖化等による水温変化など海洋環境の変化による野生マグロ類への影響の解明に貢献。今後、学会誌で発表予定。
井の頭自然文化園 (日本獣医生命 科学大学)	ヤマネコの人工繁殖 技術に関する研究 (H17～継続中)	絶滅危惧種であるツシマヤマネコに近縁の、アムールヤマネコで血中ホルモン測定等の調査や人工繁殖試験を実施。この結果をツシマヤマネコでの飼育繁殖技術に応用し、環境省の保護増殖事業の推進に貢献。

(注) 園名下の括弧内は共同研究相手

人々と野生動物との架け橋となる動物園

多様な野生動物の生態や生息地の環境を伝え、来園者の興味や関心を引き起こし、野生動物の保全活動の理解者と担い手を育んでいきます。

（生態や生息環境の再現）

都立動物園は、野生動物本来の生態を引き出し、来園者に驚きと感動を与えることができるような取組を進めてきています。最近では、オランウータンのスカイウォーク、世界初のツキノワグマの冬眠展示やジャノメコオリウオの飼育などに取り組んできました。

世界中から訪れる多くの人へ、野生動物の保全の必要性を効果的に伝えるためには、動物や自然への興味や関心を引き起こすことが重要です。

今後は、飼育などの過程で動物が感じるストレスに配慮した飼育環境づくりや、動物の行動や生態の再現にとどまらず、来園者が野生動物の生息環境を擬似体験でき、動物や自然への想像力をより一層かき立てられるように、動物園全体を統一性あるコンセプトのもとで整備していきます。

《参考》都立動物園の取組例

◆ オランウータンのスカイウォーク （多摩動物公園）

「森の人」と呼ばれるオランウータンの樹上での行動を、高さ 12～15 m の塔と日本一の長さとなる 150 m にわたるロープにより再現しています。



◆ ツキノワグマの冬眠展示
(恩賜上野動物園)

ツキノワグマの本来の生態である冬眠を展示室内で再現し、観察できる世界初の展示を実現。平成 22 年度には冬眠中の出産にも成功しました。



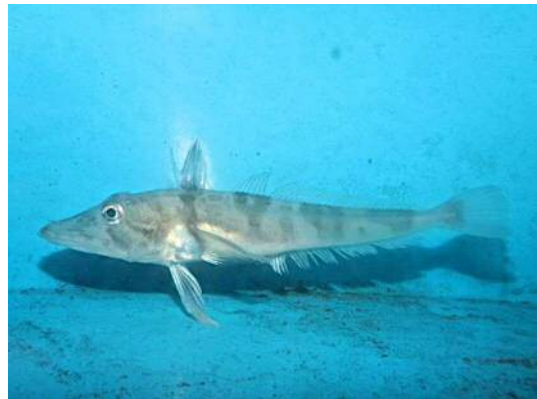
◆ ニシローランドゴリラを群れで
飼育展示 (恩賜上野動物園)

オスと複数のメスで構成するゴリラ本来の群れの飼育展示を日本で初めて実現しました。



◆ ジャノメコオリウオの飼育展示
(葛西臨海水族園)

南極周辺の限られた地域に生息するコオリウオ※の展示を、平成 23 年 8 月から開始。水族館で生きた状態で展示するのは世界で初めてです。



※ コオリウオの最大の特徴は、脊椎動物で唯一、血色素ヘモグロビンを持たないため血液が無色透明なことです。

《参考》 海外の動物園・水族館の取組例

◆ ブロンクス動物園（アメリカ）

「コンゴ・ゴリラの森」は、中央アフリカの熱帯雨林を模しており「熱帯雨林の小道」「ゴリラとの出会い」などのテーマに沿って、展示が行われています。



◆ モントレー・ベイ水族館※ （アメリカ）

世界最大の海藻「ジャイアントケルプ」が作り出す「海藻の林」の生態系を、そこに生息する多様な水生生物とともに再現しています。



◆ シンガポール動物園 （シンガポール）

自然の中で動物の生態を再現するという、動物園のコンセプトに沿って、レストランなどの施設も統一感のあるデザインにより整備されています。



レストラン



案内サイン

※ 葛西臨海水族園はモントレイ・ベイ水族館と友好協定を結んでいますが、このほかに都立動物園（4園）では、国内外の6つの動物園・水族館と友好協定を結び、交流しています。

(環境学習の場としての機能強化)

都立動物園は、子どもたちが感性を育みながら、学んでいく機会を提供するため、自然に触れる機会の少なくなった子どもたちへ、動物や自然に接する楽しさを伝えてきました。

誰もが気軽に楽しめる飼育係員による動物の解説（キーパーズトーク）をはじめ、こども動物園やふれあいコーナー、タッチプール、夏休みを利用した小学生向けの動物観察や飼育体験イベント（サマースクール）などを実施してきました。

さらに、園外においても、都内や近県の身近な場所で野外観察会を行ってきました。



キーパーズトーク（井の頭自然文化園）



ふれあいコーナー（恩賜上野動物園）



タッチプール（葛西臨海水族園）



サマースクール（多摩動物公園）



高尾山でのムササビ観察会
(多摩動物公園)



観音崎（神奈川県）での磯の観察会
(葛西臨海水族園)

都立動物園が環境学習の拠点となるため、単に知識を教えるだけでなく、子どもから大人までそれぞれの段階に応じて、楽しみながら主体的に学べる多様なプログラムを園内外で展開していきます。

そのため、まず学校教育との連携を強化し、これまで実施してきた教員セミナーのほか、都立動物園をより一層活用しやすくするため、アウトリーチ活動※の充実を図っていきます。

さらに、環境学習を実践しているNPOなどと連携したプログラムなどを行うとともに、そのノウハウを蓄積していくことで学習の場としての都立動物園の機能をさらに高めていきます。

また、こうした学習機能の強化と合わせ、スタッフの研修の充実や参加型・体験型イベントを行うための環境づくりを行っていきます。

※ アウトリーチ活動とは、利用者のもとに自ら出向いて行う活動のことで、都立動物園では、出張動物園、出張授業などの教育活動を実施しています。

(都民等との協働事業の充実)

都立動物園では現在 700 名を超えるボランティア※が教育普及活動や園内の案内などで活躍しています。

また、都民をはじめ様々な人たちの動物園事業への参加意識の促進と資金的支援を目的とした「動物園サポーター」は、現在 600 名を超える方の登録があります。サポーターからの寄付金は主に各園の飼育環境及び展示の改善に使用されています。

今後とも、都民等との協働による動物園づくりを進め、動物園事業への理解者を増やしていきます。



ボランティアによる教育普及活動
(葛西臨海水族園)

(都立動物園における環境への配慮)

都立動物園は、環境への配慮活動として園内の緑化を進めるほか、動物の糞、寝わらの堆肥化などのリサイクルを実施しています。

今後は、エネルギー利用の効率化や再生可能エネルギーの活用などを率先して進め、地球環境に配慮した園内運営や施設整備を行ってだけでなく、こうした環境保全の取組が野生動物の生息地を守ることにもつながることを、分かりやすく来園者に伝える取組なども行っていきます。



クマたちの丘の壁面緑化
(恩賜上野動物園)

※ 東京動物園ボランティアーズ(TZV)は、昭和49年度設立の都立動物園のボランティア組織で、動物の解説やイベントの案内等を実施しています。葛西臨海水族園では平成19年度から東京シーライフボランティアーズ(TSV)という新たな組織が活動しています。

《参考》 ゾウ舎屋上の太陽光パネルとその発電量を表示するモニター
(恩賜上野動物園)



賑わいを創出する動物園

魅力あふれるサービスの提供により、都民だけでなく、世界中から多くの来園者を迎え、東京の観光や地域振興にも貢献していきます。

（安全・安心、快適な空間）

都立動物園は、種の保存とそれを支える調査研究、そして環境学習の場としての役割も果たしていますが、こうした役割をより多くの来園者に知ってもらうためにも、さらに魅力あふれる施設となることが重要です。

そのためには、まず「安全・安心、快適」を実感できる施設である必要があります。これまで、園内施設の安全性と快適性の向上のため、トイレや手洗い場の改修やスロープの設置などを計画的に行ってきましたが、今後は、子供から高齢者、外国人まで誰もが自由に行動しやすく、利用しやすい、ユニバーサルデザインによる園内整備を行っていきます。また、動物園内では、来園者の快適性が天候に左右されてしまうことが多いので、猛暑・雨天対策を強化することにより、快適に園内を観覧できる環境を整えていきます。

さらに、来園者の第一印象となる入場口でのインフォメーション機能の充実、情報通信技術（ＩＣＴ）※を用いた園内ガイドサービス、園内の案内サインの充実なども行っていきます。

※ ＩＣＴとは、Information and Communication Technology の略で、これまでのＩＴ（情報技術）に情報通信においてのコミュニケーションの実現という概念を加えた、インターネットや携帯電話等の情報通信技術のことです。

《参考》



子ども動物園手洗い場（恩賜上野動物園）



水生物館スロープ（井の頭自然文化園）



無料休憩所（多摩動物公園）



民間資金を利用した案内サイン
（恩賜上野動物園）



現行のユビキタスサービス※（恩賜上野動物園）
→スマートフォンの活用も検討中

※ 「ユビキタス技術」とは、「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」の考えのもと、さまざまなサービスがコンピュータネットワーク等で提供され、生活をより豊かにする社会実現のための情報通信技術です。恩賜上野動物園では、この「ユビキタス技術」を用いた携帯端末による無料動物情報サービスを提供しています。

(ホスピタリティあふれるサービス)

都立動物園では、来園者サービスの向上を図るため、開園日数の拡大や夏休みを中心に夜間開園を実施しています。

今後は、来園者ニーズをとらえたおすすめ観覧コースの提案などを行っていくほか、来園者が普段見ることのできない都立動物園のバックヤードを案内するツアーの実施など、新たなサービスの提供の検討も進めていきます。

同時に、継続的な接遇研修を実施することなどにより、案内係はもちろん飼育係から販売係まで職員全員の「ようこそ」の気持ちにあふれたサービスを提供し、訪れた人たちが、また何度でも来たいと思えるような動物園づくりを行ってきます。

職員心得「20の行動指針」③

〇ようこそ心を表す取り組み

- 11 尋ねられる内容は同じでも、いつも笑顔で適切に答えます。
- 12 お客様と積極的にコミュニケーションを図ります。
- 13 常にお客様から声をお掛けいただける「親しみやすさ」を失いません。
- 14 全てのお客様に満足いただけるように努めます。
- 15 「一人ひとりが学芸員」を目指し、その成果をお客様に伝えていきます。

東京動物園協会の職員携行用の心得「20の行動指針（抜粋）」
（全文は巻末参考資料に掲載）

(観光の拠点づくり)

多くの人たちに都立動物園に足を運んでいただくため、開園記念日の入園料を無料にするほか、4園それぞれの年間パスポートの発売などを行ってきました。また鉄道事業者が販売する一日乗車券に入園券をセットしたり、地元の区市、大学、商店街や博物館などと連携し、相乗効果を発揮できる取組を進め、都立動物園の魅力向上に努めてきました。

今後も、都立動物園が、さらに東京の観光や地域振興に寄与できるよう、鉄道事業者、旅行会社、地元区市など多様な主体と連携して、都立動物園を組み込んだパッケージツアーを展開するなど、都立動物園の観光資源としての魅力を一層高めていきます。



Visit Zoo キャンペーン
ロゴマーク ※

※ 観光資源としての都立動物園の魅力向上のため、Visit Zoo キャンペーンを実施中（平成22年度～平成24年度）。この中で、開園日数の拡大など様々な取組を行っています。

《参考》連携事例

◆ 恩賜上野動物園と国立科学博物館、地元商店街

恩賜上野動物園の入園料と国立科学博物館の特別展の入場料の相互割引※に加えて、地元商店街の連合会である上野のれん会によるスタンプラリーを実施中。動物園と博物館とでスタンプを押して、のれん会加盟店で食事か買い物をする、オリジナルグッズをプレゼントしています。（平成 23 年 9 月現在）



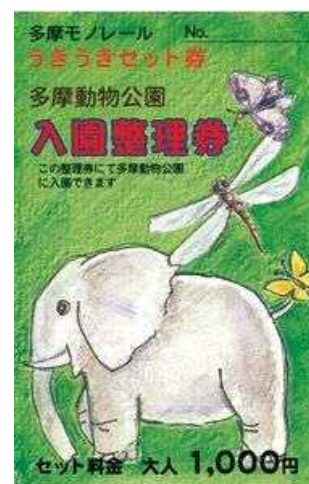
◆ 鉄道事業者との 4 園スタンプラリー

J R 東日本、多摩都市モノレール、京王電鉄との共催で「電車でまわろう！動物園・水族園スタンプラリー」を実施中。都立動物園の園内と、それぞれの最寄り駅構内に置かれたスタンプを押し、応募した人の中から抽選でオリジナルグッズをプレゼントしています。（平成 23 年 9 月現在）



◆ 一日乗車券とのセット入園券

多摩都市モノレールの一日乗車券に多摩動物公園の入園券をセットにして 1,000 円で販売。個別に購入するよりも 450 円お得です。（大人乗車券のみ販売）



※ 恩賜上野動物園の入園料は 2 割引、博物館では特別展の入場料が大人 100 円引、小・中・高校生 50 円引になります。

◆ 鉄道事業者と連携した広告例



京王電鉄多摩動物公園線の車体広告
(多摩動物公園)



J R 葛西臨海公園駅構内に設置した広告展示
(葛西臨海水族園)



都営地下鉄内の吊り革広告
(恩賜上野動物園)

3 各園の目指す姿と取組の方向

都は、各園の立地環境や特色等に応じて、次のような目指す姿と取組の方向をそれぞれ定め、各園の魅力を高めています。

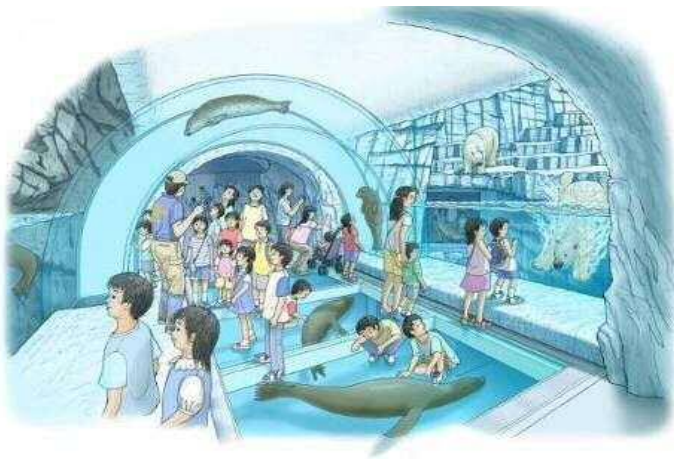
【恩賜上野動物園】

◆目指す姿

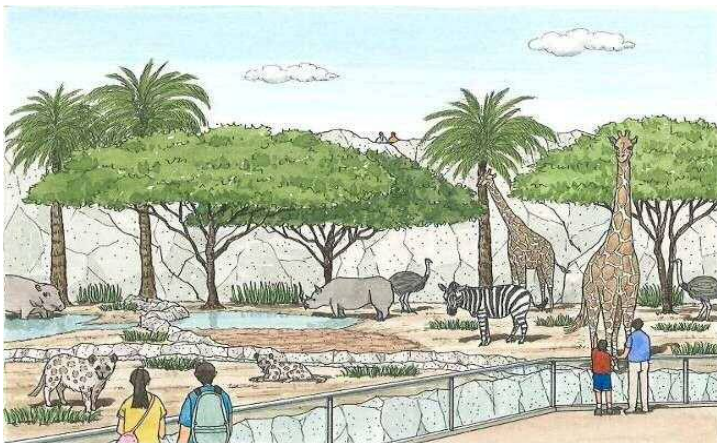
様々な動物の魅力的な展示を通して、野生動物保全の重要性を国内外へ発信する動物園

◆取組の方向

- ・世界の野生動物に関する情報発信の拠点
- ・立体的な複合展示と生息地を再現したゾーン整備



ホッキョクグマと
アザラシの立体的な
複合展示



サバンナの雰囲気
を再現したゾーン整備

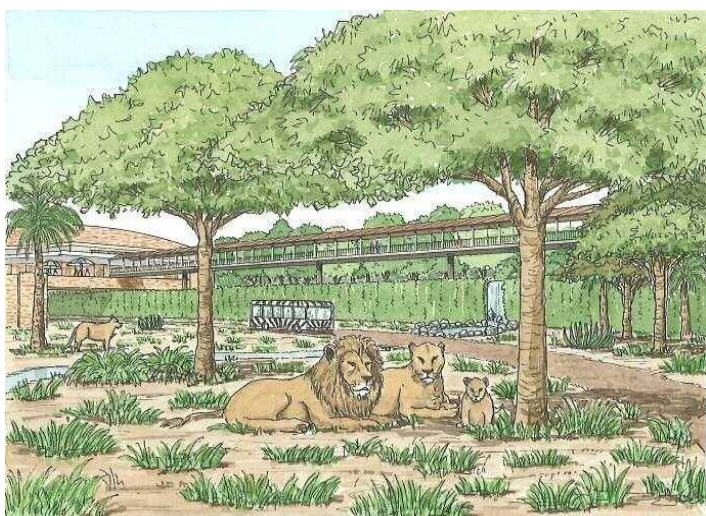
【多摩動物公園】

◆目指す姿

多摩丘陵の自然を活用し、ダイナミックな展示と野生動物の繁殖を推進する動物園

◆取組の方向

- ・ 大型野生動物の繁殖基地とバイオテクノロジーを応用した種の保全
- ・ 広大で豊かな自然を生かした生息環境の再現



ライオンなどの
群れの生態を
再現する展示



起伏があり、広い
敷地を循環する
シャトルバスなど
移動手段の充実

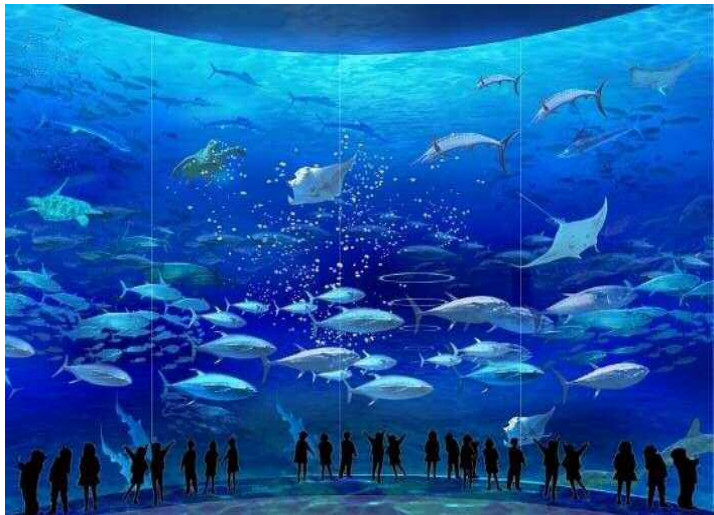
【葛西臨海水族園】

◆目指す姿

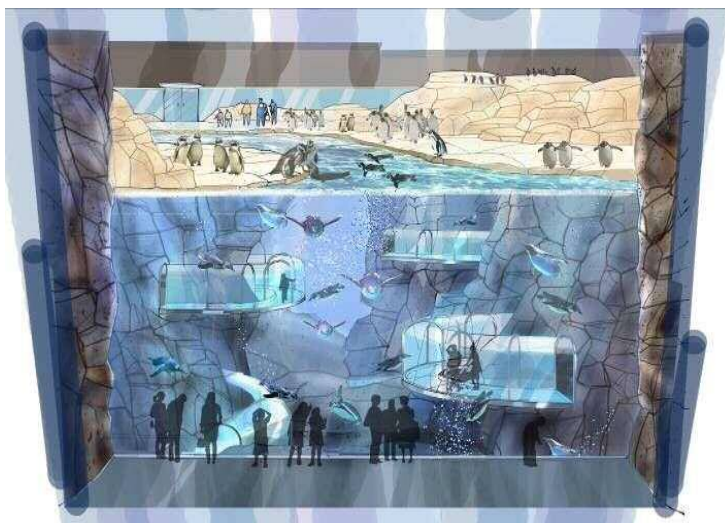
「生態」から「食育」までを楽しく学べる水族園

◆取組の方向

- ・ 巨大マグロの群泳、大海藻やサンゴ礁など海の生態系をありのままに再現
- ・ 東京湾（江戸前）をはじめとする各地の食文化や歴史を通して、海の恵みの大切さを伝える



迫力満点の
外洋水槽



ペンギンが雄大に
飛び回る展示

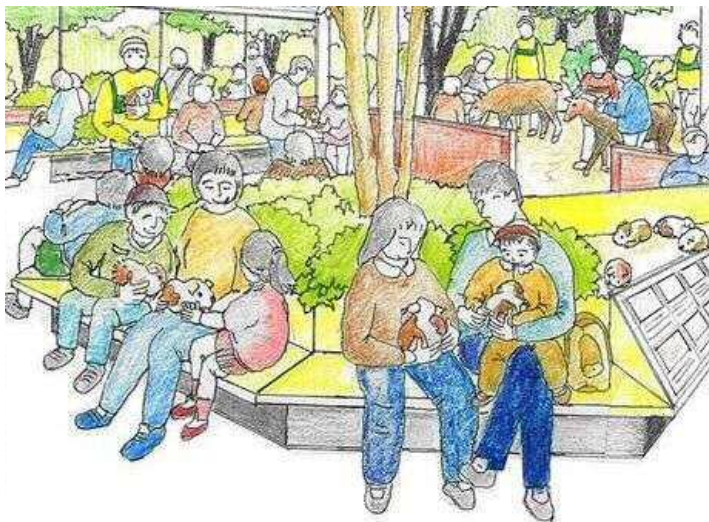
【井の頭自然文化園】

◆目指す姿

いつでも気軽に楽しめ、充実したふれあい体験を通じ、野生動物を守る
心を育む動物園

◆取組の方向

- ・身近な動物とのふれあい体験の提供
- ・生息地と連携した日本産動物の保全と啓発



親子で体験する
ふれあいと環境
学習の充実



都内でのメダカの生息状況調査



絶滅危惧種ツシマヤマネコ

メダカから
ツシマヤマネコまで
日本産動物の保全

都立動物園の主要施設の整備に当たっては、動物園・水族園としての本来機能の発揮に加え、安心・安全の確保と環境負荷の低減、将来コストの縮減と利便性の確保などの諸課題に対応していかなければなりません。特に、安心・安全の確保に関しては、東日本大震災を踏まえて、取組を強化していきます。

その上で、都立動物園の魅力向上を図る観点から、各園の取組の方向を踏まえた施設整備を行っていきます。これまでは主に動物種ごとに施設整備を行ってきましたが、今後は、各園の状況に応じて、動物舎などとその周辺一体を含んだ空間をゾーンとしてとらえて、施設整備を行っていきます。

恩賜上野動物園については、狭小な園内敷地を有効に活用する観点から、新たに気候帯などに基づき、西園、東園それぞれの中にゾーンを設定していきます。

恩賜上野動物園



多摩動物公園

多摩動物公園については、同じ地域に生息する動物を一緒に展示する既存のアジア園、アフリカ園などの区分を生かしながら、その中でゾーンを設定していきます。



ゾーン設定を行うことにより、来園者が野生動物の生息環境にいるかのような景観を創出できるとともに、生息環境を再現することで動物が暮らしやすい環境を整備することができます。

葛西臨海水族園



また、葛西臨海水族園については、開園から 20 年が経過し、大規模更新が必要となっており、施設の更新を行っていきます。

井の頭自然文化園

井の頭自然文化園については、本園と分園の立地状況を踏まえて、施設整備のあり方を検討していきます。



第4 都立動物園マスタープランの実現に向けて

1 効率的・効果的な運営

都は、平成 18 年 4 月から都立動物園の指定管理者である公益財団法人東京動物園協会とともに、都民に親しまれる都立動物園づくりを進め、様々な来園者サービスの向上に努めてきました。

今後、都立動物園マスタープランを着実に実施し、これまで以上に魅力ある都立動物園としていくためには、都民の理解と協力が不可欠であり、より効率的・効果的な都立動物園の運営を行っていかねばなりません。

都は、指定管理者とともに、都立動物園事業にかかる経営改善を一層推進していくため、入園者数[※]の増加を図るとともに、費用対効果を見極めながらコスト縮減にも不断に取り組み、都立動物園事業に係る収支比率を改善していきます。

2 入園者増の戦略的取組

これまで都立動物園は立地条件に恵まれ、知名度の高さもあったことから、集客を効果的に行っていく意識や体制が十分とはいえませんでした。

都は、都立動物園の設置者として、魅力ある動物園づくりを進めることはもちろんのこと、動物園の管理運営に係る規制緩和を図り、指定管理者が創意工夫を発揮した入園者誘致の取組を行える環境づくりやそのために必要となる支援に努めていきます。

指定管理者においては、専門知識や経験を持つスタッフを活用することなどにより、マーケティング機能や営業宣伝体制を強化して、継続的かつ戦略的な営業活動を展開していきます。また、子どもだけでなく幅広い年齢層、海外からの観光客など多様な入園者を誘致するための広報戦略の展開や民間事業者との連携を推進していきます。

※ 入園者数（平成 22 年度の 4 園実績）の約 5 割が無料入園（小学生、都内在住・在学中学生）となっています。また、65 歳以上の方の入園料は一般の半額となっています。

《参考》民間資金の活用事例



民間事業者によるフリーペーパー
(恩賜上野動物園)



民間事業者によるお絵かき教室
(多摩動物公園)

【参 考 資 料】

1 全国の動物園・水族館別の入園者数（平成 21 年度実績）

（単位：人）

順位	動物園	入園者	水族館	入園者
1	恩賜上野動物園	3, 028, 386	沖縄美ら海水族館	2, 790, 649
2	旭川市旭山動物園	2, 463, 274	大阪・海遊館	2, 208, 386
3	名古屋市東山動物園	2, 284, 853	名古屋港水族館	1, 725, 373
4	大阪市天王寺動植物公園	1, 844, 468	横浜・八景島シーパラダイス	1, 595, 118
5	神戸市立王子動物園	1, 403, 462	葛西臨海水族園	1, 572, 367
6	横浜市立よこはま動物園	1, 221, 868	神戸市立須磨海浜水族園	1, 354, 808
7	東武動物公園	1, 191, 091	新江ノ島水族館	1, 278, 156
8	富士自然動物公園	1, 182, 387	アクアワールド茨城県大洗水族館	1, 106, 915
9	アドベンチャーワールド	1, 103, 800	鴨川シーワールド	968, 695
10	多摩動物公園	1, 059, 871	エプソン品川アクアスタジアム	953, 696
11	海の中道海浜公園動物の森	979, 468	鳥羽水族館	933, 085
12	札幌市円山動物園	923, 503	ふくしま海洋科学館	903, 498
13	京都市動物園	782, 024	大分マリンパレス水族館 「うみたまご」	793, 316
14	福岡市動物園	767, 177	サンシャイン国際水族館	718, 678
15	井の頭自然文化園	739, 030	かごしま水族館	691, 186
16	千葉市動物公園	735, 066	下関市立しものせき水族館	665, 484
17	豊橋総合動植物公園	732, 535	海の中道海洋生態科学館	664, 041
18	熊本市動植物園	686, 243	しながわ水族館	540, 521
19	横浜市立野毛山動物園	680, 777	新潟市水族館マリニピア日本海	489, 113
20	愛媛県立とべ動物園	645, 288	南知多ビーチランド	471, 969

（注）平成 21 年度日本動物園水族館年報（社団法人日本動物園水族館協会発行）に基づき作成

2 都立動物園（4園）の概要（平成23年4月1日現在）

区分	恩賜上野動物園	多摩動物公園	葛西臨海水族園	井の頭自然文化園
所在地	台東区上野公園 9-83	日野市程久保 7-1-1	江戸川区臨海町 6-2-3	(本園) 武蔵野市御殿山 1-17-6 (分園) 三鷹市井の頭 4-1
開園日	明治15(1882)年 3月20日	昭和33(1958)年 5月5日	平成元(1989)年 10月10日	昭和17(1942)年 5月17日
敷地面積 (㎡)	142,898	523,864	85,958	115,500
飼育動物 種数	468種	350種	1,153種	215種
交通 (最寄 駅)	JR、京成電鉄 「上野」駅 都営地下鉄 「上野御徒町」駅 東京メトロ 「上野」「根津」駅	京王電鉄、 多摩都市モノレール 「多摩動物公園」 駅	JR 「葛西臨海公園」駅	JR、京王電鉄、 東京メトロ 「吉祥寺」駅
入園料	- 一般 600 円 - 中学生 200 円 65 歳以上 300 円 - 団体(20 名以上)は上記の 2 割引 - 年間パスポート 一般 2,400 円 65 歳以上 1,200 円		- 一般 700 円 - 中学生 250 円 65 歳以上 350 円 - 団体(20 名以上) は上記の 2 割引 - 年間パスポート 一般 2,800 円 65 歳以上 1,400 円	- 一般 400 円 - 中学生 150 円 65 歳以上 200 円 - 団体(20 名以上) は上記の 2 割引 - 年間パスポート 一般 1,600 円 65 歳以上 800 円
	- 小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料 (こどもの日(5月5日)はすべての中学生が無料) - 各園の開園記念日、みどりの日(5月4日)、都民の日(10月1日)はすべての人が無料			
開園時間	午前9時30分～午後5時(入園券の発売及び入園は午後4時まで)			
休園日	毎週月曜日	毎週水曜日	毎週水曜日	毎週月曜日
	年末年始(12月29日～翌年1月1日)			

(注) 休園日が祝日・都民の日(10月1日)にあたる場合は開園し、翌日に休園

3 ズーストック種（50 種）

園名	分類	種名	
恩賜 上野動物園 (17 種)	哺乳類 (7 種)	ニシローランドゴリラ ドール マレーグマ ニホンツキノワグマ	ジャイアントパンダ ベンガルヤマネコ スマトラトラ
	鳥類 (2 種)	ショウジョウトキ	オオタカ
	爬虫類 (6 種)	スッポンモドキ ニシアフリカコガタワニ ヒョウモントカゲモドキ	マダガスカル産カメレオン アメリカドクトカゲ アフリカニシキヘビ
	魚類 (2 種)	ネオセラトダス	アジアアロワナ
多摩 動物公園 (17 種)	哺乳類 (13 種)	ニューサウスウェールズコアラ ボルネオオランウータン チンパンジー シセンレッサーパンダ ユキヒョウ アムールトラ アフリカチーター	モウコノウマ グレビーシマウマ マレーバク インドサイ シフゾウ ターキン
	鳥類 (4 種)	ニホンコウノトリ シジュウカラガン	ソデグロヅル ニホンイヌワシ
井の頭 自然文化園 (9 種)	哺乳類 (4 種)	ニホンリス ホンドテン	ニホンイタチ ツシマヤマネコ
	鳥類 (4 種)	コハクチョウ オシドリ	カリガネ トモエガモ
	魚類 (1 種)	ミヤコタナゴ	
葛西 臨海水族園 (2 種)	鳥類 (2 種)	フンボルトペンギン	オウサマペンギン
大島 公園動物園 (5 種)	哺乳類 (1 種)	オガサワラオオコウモリ	
	鳥類 (3 種)	ハワイガン ハハジマメグロ	カラスバト
	爬虫類 (1 種)	アルダブラゾウガメ	

(注1) ズーストック種は、国内外の法律で保護されている種や、野生個体が減少し、保護が必要とされる種から選定。

(注2) 平成23年8月現在の各園分担状況。平成元年のズーストック計画事業開始以降、現在までに繁殖実績のある種（50種中38種）をゴシック体で記載

(注3) 大島公園動物園（東京都大島支庁所管）は、ズーストック計画事業開始時から連携

4 ジャイアントパンダ保護サポート基金

区 分	概 要
基金の目的	東京都と中国野生動物保護協会との間で共同で進める「ジャイアントパンダ繁殖研究プロジェクト」を支援し、ジャイアントパンダ保護への理解を深めるため、東京動物園協会が設置
基金の内訳	◆寄付金 ・恩賜上野動物園内の大型募金箱による寄付 ・郵便振替又はクレジット決済による寄付 ◆協賛金 ・企業協賛金 ・園外でのロゴマーク使用、又は「UENO-PANDA. JP」 (恩賜上野動物園ジャイアントパンダ情報サイト) 内のバナー広告による協賛金  ロゴマーク
基金の使途	◆繁殖研究プロジェクトを通じた国際的なパンダ保護活動 ◆ジャイアントパンダ保護に向けた普及啓発活動 ◆恩賜上野動物園におけるジャイアントパンダの飼育環境の向上
Save the Panda パートナーズ	◆個人：20,000 円以上、企業・団体：50,000 円以上のご寄付をいただいた方々のうち希望により登録 ◆名前を刻印したプレートをジャイアントパンダ舎前に掲示、期間満了後（掲出日より2年）にプレートを申込者に贈呈  パンダ舎前のプレート掲示  名前の刻印 プレートイメージ

(注) 平成 23 年 2 月 26 日から寄付等の募集開始

5 都立動物園の指定管理者 20の行動指針（公益財団法人東京動物園協会）

○動物を「まもる」取組

- 1 個々の動物に、愛情を持って接します。
- 2 野生生物の保全の大切さを理解し、一人ひとりの行動に反映します。
- 3 野生生物の保全のための多様な方法を理解し、自ら実践します。
- 4 「野生生物保全センター」の活動と一緒に仕事を進めます。
- 5 国内外の園・研究機関等と交流を図ることによって活動を広げます。

○動物のことを「伝える」取組

- 6 お客様に感動してもらえる展示を工夫します。
- 7 誰もが動物のことを学べる場とします。
- 8 わたしたちの知識を深め、知的資産として活用していきます。
- 9 学校教育と連携して、動物への理解を広げていきます。
- 10 感動の体験をしてもらえる動物園を目指します。

○ようこそその心を表す取組

- 11 尋ねられる内容は同じでも、いつでも笑顔で適切に答えます。
- 12 お客様と積極的にコミュニケーションを図ります。
- 13 常にお客様から声をお掛けいただける「親しみやすさ」を失いません。
- 14 全てのお客様に満足いただけるように努めます。
- 15 「一人ひとりが学芸員」を目指し、その成果をお客様に伝えていきます。

○経営感覚に富んだ取組

- 16 計画→行動→反省・検証→改善行動のPDCAサイクルで仕事を進めます。
- 17 「ご意見」「おしかり」をしっかり受け止め、仕事に反映していきます。
- 18 様々な分野の人の知見や意見を積極的に吸収します。
- 19 来園者を増やし、活気にあふれた動物園づくりの工夫を常に考え、実践します。
- 20 柔軟な発想による具体的なアイデアを提案できるように行動します。

都立動物園マスタープラン

登録番号 (23) 46

平成 23 年 9 月発行

編集・発行 東京都建設局公園緑地部計画課
〒163-8001 新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号
電話 03-5321-1111 (代表) 内線 41-256
03-5320-5374 (直通電話)
ホームページアドレス
<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/>

印刷所 株式会社まこと印刷



恩賜上野動物園
Ueno Zoological Gardens



多摩動物公園
Tama Zoological Park



葛西臨海水族園
Tokyo Sea Life Park



井の頭自然文化園
Inokashira Park Zoo